

## 介護保険料のお知らせ

特徴

令和7年度(4月～翌年3月)の介護保険料について、別紙決定通知書のとおり、受給している年金から天引き(特別徴収)となります。

### ◇ 保険料の算定方法(所得段階及び保険料)

所得段階	対 象 者	年額保険料
第1段階	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 生活保護を受けている方</li> <li>● 世帯全員が町民税非課税で、老齢福祉年金を受給している方</li> <li>● 世帯全員が町民税非課税で、本人の前年の課税年金収入額と合計所得金額の合計が 80 万9千円以下の方</li> </ul>	27,020 円
第2段階	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 世帯全員が町民税非課税で、本人の前年の課税年金収入額と合計所得金額の合計が 80 万9千円超 120 万円以下の方</li> </ul>	45,980 円
第3段階	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 世帯全員が町民税非課税で、本人の前年の課税年金収入額と合計所得金額の合計が 120 万円超の方</li> </ul>	64,940 円
第4段階	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 同じ世帯に町民税が課税されている人がいるが、本人は町民税非課税で、本人の前年の課税年金収入額と合計所得金額の合計が 80 万9千円以下の方</li> </ul>	85,320 円
第5段階	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 同じ世帯に町民税が課税されている人がいるが、本人は町民税非課税で、本人の前年の課税年金収入額と合計所得金額の合計が 80 万9千円超の方</li> </ul>	94,800 円
第6段階	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本人が町民税課税で、前年の合計所得金額が 120 万円未満の方</li> </ul>	113,760 円
第7段階	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本人が町民税課税で、前年の合計所得金額が 120 万円以上 210 万円未満の方</li> </ul>	123,240 円
第8段階	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本人が町民税課税で、前年の合計所得金額が 210 万円以上 320 万円未満の方</li> </ul>	142,200 円
第9段階	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本人が町民税課税で、前年の合計所得金額が 320 万円以上 420 万円未満の方</li> </ul>	161,160 円
第10段階	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本人が町民税課税で、前年の合計所得金額が 420 万円以上 520 万円未満の方</li> </ul>	180,120 円
第11段階	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本人が町民税課税で、前年の合計所得金額が 520 万円以上 620 万円未満の方</li> </ul>	199,080 円
第12段階	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本人が町民税課税で、前年の合計所得金額が 620 万円以上 720 万円未満の方</li> </ul>	218,040 円
第13段階	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本人が町民税課税で、前年の合計所得金額が 720 万円以上の方</li> </ul>	227,520 円

裏面もご覧ください➡

◇ 特別徴収(年金からの天引き)の仮徴収と本徴収について

仮 徴 収			本 徴 収		
4月	6月	8月※1	10月	12月	翌年2月
町民税が確定していないため、仮に算定された保険料(2月と同額)を納めていただきます。			確定した年間保険料額から仮徴収で納めた額を差し引き、残った額を3回に分けて納めていただきます。		

※1 収入の変動などで前年度の仮徴収額と本徴収額の差が大きくなっている方がおり、このまま仮徴収を行うと1年間の保険料が前半(仮徴収)と後半(本徴収)で偏ってしまいます。そこで、1年間を通じて保険料ができるだけ均等になるよう、8月の徴収額を変更し調整します。これを「平準化」といいます。ただし、前半と後半の保険料額に大きく差のない方は対象となりません。